

教育環境充実基金 附属幼稚園プロジェクト「幼児ラボ (labo:研究所)」  
～見る・触れる・知る・調べる～ ICT・メディア機器の活用



カマキリの赤ちゃんがどんどんでてるよ！



幼虫がぶら下がってるけど、なんでかな？



ほら見て！すごくきれい！キラキラしてる！



この石をよく見ると不思議な色・・・きっと化石に違いない・・・(デジタル顕微鏡)



「カマキリの卵からあかちゃん！」「いよいよサナギになりそうだ」「これはきっと化石やと思う」  
～子供たちの世界はいつも生き生きとして新鮮で美しく、驚きと感激にみちあふれています。新しいもの  
や未知なものにふれたときの感激、思いやり、憐れみ、賛嘆や愛情などのさまざまな形の感情がひとたび  
よびさまされると、次はその対象となるものについてもっとよく知りたいと思うようになります。そのよ  
うにして見つけだした知識は、しっかりと身につきます。～ 『Sense of wonder』 レイチェル・カーソン



教育環境充実基金 附属幼稚園プロジェクト「幼児ラボ(labo:研究所)」  
～見る・触れる・知る・調べる～ 命の場所 ビオトープ



まずは小さな池でメダカとの出会い・・・



ビオトープ作りたいんだけど、と副園長プレゼン



素晴らしい生命に出会えるかもよ



穴掘り遊びやったら僕らもできるで！

休日保護者協力隊、2日間のご協力ありがとうございました



「ビオトープ」はギリシャ語源のBio（命）+Topos（場所）から生まれた言葉です。「いまを生きる」子供たちが「これからを生き抜く」力をつけていく保育を探究している附属幼稚園です。自分たち「人間」と共生しながらも、異なる“生き方”に気づかせてくれる様々な生き物に触れることは、とても大切なことだと考えています。命に触れることによる様々な感動は、ファンタジーから現実へ、そして希望へ、行動へとつながっていくのではないだろうか。そう考えています。完成まではあと少しです。



教育環境充実基金 附属幼稚園プロジェクト「幼児ラボ(labo:研究所)」  
～見る・触れる・知る・調べる～ 豊かな自然環境の維持・充実



のびのび遊べる広い園庭 市内最大級！！



3歳児クラスの園庭、広い芝生の広場とどんぐり広場、そして「たからのもり」。四季折々の美しさを知らせてくれる豊かな自然環境は、子供たち、幼稚園の大切な「たからもの」です。虫捕りやかっこ、菜園での栽培活動やSDGsの視点から取り入れたコンポスト、色とりどりの落ち葉やどんぐり、そして静かに春を待つ冬…。子供たちは、いくつものことに感動し、関わり、学んでいくことでしょう…。この自然環境を手入れし、維持・充実させて、より豊かな体験につなげていくことは私たちの使命です。